※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 1003 |
|---|---|

# 令和８年度　家庭科

| 教科 | 家庭 | 科目 | （学）生活文化 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | | | | | | | |
| 副教材等 | 「家庭科５５デジタル＋」資料集＋食品図鑑　（教育図書）<br>おとなドリルシリーズ①新おとなドリル　（教育図書）<br>おとなドリルシリーズ③マナードリル　（教育図書）<br>おとなドリルシリーズ④食べ物ドリル　（教育図書） | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日本の生活文化の特徴を「衣」「食」「住」「消費者としての生活」を中心に学習します。
学習方法は、座学や実習を主としますが、ワークショップで新聞や書籍などをもとに自分たちの生活について考察し、また世界の諸地域と比較をしながら理解を深めます。
最終的に、自分や自分を取り巻く周囲の生活をよりよくするために学んだ知識を活用する方法を考えます。
※教材費が必要です。

2　学習の到達目標

（１）「衣」「食」「住」「消費者としての生活」を中心に日本の生活文化について、社会人として必要な知識や技能を習得する
（２）習得した知識や技能を活用し、自分たちの生活の中から実際に課題を発見し、個々に問題解決を考える
（３）自分の生活と関連させ、生活階位を発見し「問題解決能力」やそれらを活用する態度を身につける

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 「衣」「食」「住」「消費者としての生活」に関する基礎的･基本的な知識･技能を総合的に身に付けている。自分たちの生活について考え実践する力を身に付けている | 「衣」「食」「住」「消費者としての生活」についての思考を深め、適切に判断し工夫し創造する能力を身に付けている。 | 「衣」「食」「住」「消費者としての生活」について理解し、意欲的に取り組むとともに、実践的な能力を身につけている。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期(4~8月) | 「衣」について | 衣生活の文化と知恵<br><br>被服材料<br><br>被服の管理<br><br>被服と環境<br><br>被服実習 | a: 衣生活と人とのかかわりを衣生活の変化などから理解を深めることができる。衣服と人との関係、ライフステージと衣服、衣生活のこれまでの変化について考えることができる。<br>b: 衣服と人との関係、ライフステージと衣服、衣生活のこれまでの変化について考えることができる。また、実生活において、布をどのように利用しているのかを考えることができる。<br>c: 衣服と人との関係に関心を持ち、布を用いた具体的な実習について、積極的に取り組もうとする。 | プリントの記入<br><br>被服製作実習<br><br>定期テスト | プリントの記入<br><br>被服製作実習<br><br>定期テスト<br><br>授業でのワークなどの取り組み<br><br>振り返りシート | プリントの提出<br><br>被服製作実習<br><br>振り返りシート<br><br>授業でのワークなどの取り組み |
| | 「消費者としての生活①」 | 「おとなドリル」<br>契約について<br>家庭経済<br>消費者問題 | a:社会的責任や成人することについて生じる義務などについて理解を深める。<br>b:経済的自立やお金にまつわる知識を持ち、自分の生活を豊かにしようとしている。<br>c:18歳で成人になることや、それに伴って生じる義務や責任について自分事として取り組もうとしている | ドリル<br><br>定期テスト | ドリル、ワークでの取り組み<br><br>定期テスト<br><br>振り返りシート | ドリル、ワークでの取り組み<br><br>定期テスト<br><br>振り返りシート |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期(9～12月) | 「食」について | 食生活の文化と知恵<br>・行事食について<br>・伝承料理<br>・郷土料理<br>・伝統野菜<br>・出汁の文化<br><br>食事のマナー<br><br>食生活と環境<br><br>「消費者としての生活②」<br>食べ物ドリル | a: 地域で発展してきた郷土料理がその土地の気候・風土と密接にかかわっていることを知り、理解することができる。<br>食生活と自分の健康や環境とのかかわりについての知識を持つ<br>b: 地域の食文化やそれが発展してきた背景などについて、書籍などから情報を収集して調査内容をまとめることができる。<br>食習慣と自分の健康について考えようとしている<br>c: 自分の地域や他の地域の食文化関心を持ち、積極的に調査活動や実習に取り組もうとする<br>自分の食生活を振り返り改善のために取り組もうとしている | プリントの記入<br><br>調理実習<br><br>定期テスト | プリントの記入<br><br>調理実習<br><br>定期テスト<br><br>授業でのワークなどの取り組み<br><br>振り返りシート | プリントの提出<br><br>調理実習<br><br>振り返りシート<br><br>授業でのワークなどの取り組み |
| 3学期(1～3月) | 「住」について | 住生活の文化と知恵<br>・気候風土と住まい<br>・日本の住居<br>・世界の住居<br><br>住まいと安全<br>・災害と住居<br>・健康な住生活 | a: 住まいの安全対策、住まいにおける健康管理など、実生活に役立てることができる。<br>安全で快適な住まいや、社会環境・地域環境についての知識を身につけ、現在の住生活の課題についても認識できる。<br>b: 住生活の環境について、自分の身のまわりの課題を見付け、解決に向けて考慮、判断をすることができる。<br>c: 住まいの機能、住空間の計画や住環境について関心を持ち、快適な住まいづくり、よりよい住生活の創造にむけて意欲的に考えようとしている。 | プリントの記入<br><br>定期テスト | プリントの記入<br><br>定期テスト<br><br>授業でのワークなどの取り組み<br><br>振り返りシート | プリントの提出<br><br>振り返りシート<br><br>授業でのワークなどの取り組み |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 「消費者としての生活③」 | 「マナードリル」 | a:社会人として必要なマナーについて理解している<br>b:社会人として場に応じた振る舞いやマナーを考えることができる<br>c:自分の生活にマナーを取り入れ、快適な生活を送ろうとしている | ドリル<br><br>定期テスト | ドリル、ワークでの取り組み<br><br>定期テスト<br><br>振り返りシート | ドリル、ワークでの取り組み<br><br>定期テスト<br><br>振り返りシート |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度